

感染拡大の要因

ワクチン接種や自然感染により獲得された免疫の減衰

オミクロン株の亜系統 (BA.5等) への置き換わり

人の行動の活発化

専門家の意見

今後の感染動向の見込み

- n 夏は陽性者が増える傾向、冷房による換気不徹底、夏休みで人の移動が活発に
- n 梅雨明け・3連休・お盆が影響し、感染拡大の可能性
- n 免疫の減衰、社会における安心度の上昇による接触機会増により、感染が拡大する恐れ。
- n 不確実性が高く、急激な増加が起こるか今の時点では分からない。増加基調なのは間違いなさそう。
- n 夜間滞留人口が増加、このまま増加していくと想定よりも急ピッチで感染状況が悪化。社会や医療体制のモードチェンジが追いつけるかが課題。

【参考(昨夏の最大値)】新規陽性者数：5,908(8/13) 実効再生産数:1.72 (7/31)
入院患者数：4,351(9/4) 重症患者数：297(8/28)

今後の対応

感染の状況を踏まえ、先手先手で対応

高齢者対策の強化

ワクチン接種の推進 (若者3回目、高齢者4回目)